

輪 中 開 拓

編 集 発 行
 安八郡輪之内中学校
 PTA 会 報 委 員 会
 題 字 山 田 義 雄
 印 刷 (株)ダイキユ



東京ディズニーランドにて

大 渋 滞

三年学年主任 伊藤 重雄

最後の見学（箱根彫刻の森）を終え、全員バスに乗車。予定より十五分早い、ほぼ予定通り。あとはJR小田原駅から新幹線に乗るだけ。「大した病気や事故も無く、無事に修学旅行を終えられる。」そう確信して、バスの中で三日間を振り返っていた。
 初日・二日目の研修では、遅刻、班解体もあったが、今日は、遅刻、班解体もゼロ。

一日目のホテルでは「騒がしい」と注意をうけたが、二日目のホテルでは「たいへん優秀な中学生ですね。」と、何人もの方から褒められるほどの大変身。二日目の国会議事堂では、他校の生徒がパンフレットで顔をあおいで説明を聞いている中、あおがないで聞いているマナーの良さ。

「連れていってもらった修学旅行から、自分たちで創りあげる修学旅行にしよう」と学年PTAの説明会から始まり、修学旅行当日の司会・進行・反省会に大活躍の学年執行部の人達。
 他にも、いっぱい日ごとに成長した価値ある修学旅行だった。

満足、満足。
 非常事態はこのとき起こった。

JR小田原駅まで、予定では一時間で着くところが、大渋滞でなんと二時間半もかかってしまった。予定の修学旅行特別列車に乗れず、東京からの乗客で満員状態の自由席での帰路となった。各駅では、降りるお客さんのため一旦降りて、また乗っての繰り返し。しかも、名古屋駅では乗り換え。三日間の疲れがたまっているうえ、荷物もみやげものでいっぱい。

最悪な条件の中、怒鳴るようなことも、弱音を聞くことも無く、百三十二名全員、何事もなかったかのように、整然と帰ってきた。力のある三年生に感謝、拍手。

最後に、保護者の方々にはご心配、ご迷惑をおかけし、深謝。



「クラスの 一歩前進記録」

一組 小川祐佳里

修学旅行を通して私たちのクラスには他のクラスに負けない団結力があることに気付きました。修学旅行前の日常のやりきり活動、当日の時間厳守、約束を守る姿、素早い整列等、どれも気持ちよく達成でき、クラス全員が満足しています。学級目標の「ONE」に一步近づきました。私たちはピカイチです。

修

最高!! 修学旅行

二組 加納 伸一

本当に楽しい修学旅行でした。都内研修はさすがが東京という感じ。デイズニーはすべてが印象に残っています。帰り道には、渋滞にまきこまれました。けれど無事にきりぬける事ができ、いい経験になりました。

多くの事を学ぶ事ができ、最高の思い出になりました。



学

修学旅行の ハブニング

四組 伊藤 明代

この修学旅行では様々なハブニングがありました。この「新幹線に乗れない。」というハブニングが一番の思い出となっています。普通ならのんびりできる帰りの新幹線が約半分は立っていないければならないという事態に、足が棒になった感じがしたほどでした。でも、やっぱり楽しい時間だったと思います。



最高の修学旅行

三組 衣斐 夏来

「あの時が一番楽しかったね。」
友達と会話をしていた時に言った言葉。そう、修学旅行はたった二泊三日だったけれど、みんなの心に一生の思い出をつくったと思います。急なトラブルもあったけれど先生方の指示とみんなのすばやい行動により何事もなくすみました。本当によかったです。

旅

行

仲間と

二年一組 田中かおり

地下鉄に乗るとき、班の人たちと協力し、きちんと確かめ、乗ることができて、良かったと思う。きっと私だけなら、まちがえた気がする。だって、私よりみんなの方がしっかりしていたから。

水族館の中で、班の一部の人とはぐれてしまい、班長として残念でした。
これからは、はぐれないように定期的にみんないるか確かめるようにしたい。無事に帰ってこれて本当に良かったと思う。



1 年

社会

岐阜の人々

一年一組 伊藤 良

社会見学の時、「信長居城跡」の所で、ぼくたちは困ってしまいました。

なぜかというところ、信長居城跡がどんな見学地で、どこにあるかが、全くわからなかったからです。でも、その時、近くにいたおじさんが、「君達、どうしたの?」と、やさしく声をかけて下さいました。
この社会見学を通して、岐阜の人々は、本当に親切だということがわかりました。

見学



2 年



伸樹祭

一体感をめざして

新たな行事の成功

生徒会長 野村 優子

私は、去年の歌声広場からずっと、輪中の歌声はこのままで良いのだろうか？と疑問を持っていました。そして、自分が生徒会長となった今年、「このままではいけない」と思い、執行部六人で話し合い、この伸樹祭をつくりました。伸樹祭当日、どのクラスも、クラスの一体感を出すことができ、素晴らしい伸樹祭となりました。一人一人の輝きはまさに真珠でした。

一年二組 土井田 歩

『実感』

私はこの伸樹祭を通じて仲間の大切さ、協力のすごさを改めて実感しました。練習している時、ばらばらで先生から何回も注意を受けました。そして、たくさん練習している内に『一体感』が得られるようになりました。そして、本番はとても素晴らしいハーモニーが生まれました。私は、一つ一つの事に、熱心な姿は、決して忘れません。

伸樹祭

歌声委員長 今野由香里

この伸樹祭で私が求めたことは、行事の成功、一体感、そして、クラスが初めて団結する行事として、一人でも多くの残らぬ行事にすることでした。伸樹祭とはこれから成長していくこともふくめていきたいと思います。伸樹祭が成功かどうかは、クラスのみんなと分かち合ってください。伸樹祭で得たことは、必ず、次へのステップとなります。みなさん、がんばりましょう。

伸樹祭について

二年二組 近藤 一正

僕達二年二組は、伸樹祭当日まで歌声委員を中心として、さまざまな取り組みをしてきました。代表的なものは、パート練習と学級での全体合唱です。このように練習してきたからこそ二組の合唱が完成したのです。しかし、本番では、教室で歌っている時よりも少し声が小さかったと思います。これからも、協力して歌い続けたいと思います。

伸樹祭



「深まった団結」

三年二組 菱田弥佳代

私達の、最初で最後の伸樹祭でした。私達のクラスの学級目標は、『PUZZLE』(一つでもかけてはいけません)です。この目標の達成に向かい、朝の会や帰りの会などで、取り組んできました。本番では、学級目標を大きな声で発表できました。歌声は、学年交流会の時よりも大きくなりました。

秋の合唱祭に向けて、伸樹祭よりも団結を深めたいです。

『伸樹祭』に

生まれ変わって…

教諭 田中 彰倫

『伸樹祭』とシヤレた名称と共に、発表内容も変化した行事となり、各クラスが特色ある発表を行いました。

特に一年生の発表は、中学校に入って、初めて全校の舞台、つまり、デビューということでのクラスも緊張はしていたものの、堂々とした立派な発表であったことは、とてもたくましく思いました。まさに伸びゆく輪中をみた気がしました。



国際交流

心をこめて 上海訪日団を歓迎

四月二十日、中国・上海市の町長ら二人が訪問。全校あげて歓迎。パソコン授業や体育館での授業を参観され、「学校同士の交流を末永く」と色紙に墨書されるなど親しく和やかな交流ができました。



中国・上海訪日団を歓迎する
吹奏楽部のみなさん



アンディからのメッセージ!

To the students, teachers, PTA members and everyone in Wanouchi, I would like to thank you for a wonderful year in your schools and town. I would like to make this year even better than the last. I would like to make English fun for everyone and I would like to get to know the students, teachers and members of the town more. Please talk to me when you can and let me learn more about Wanouchi and Japanese people. I will try to speak my very poor Japanese with you. Thank you very much and let's try to learn together!



生徒、先生方、PTAの方々、輪之内町の皆様に、町内学校での幸せな日々への感謝を申し上げます。昨年よりも今年はより一層よい一年にしたいと思っています。みんなにとってもいろいろ英語をめざし、生徒や先生のことをもっとよく知りたいと思っています。できる限り話しかけて下さい。私も皆さんのことをもっとよく知りたいです。下手な日本語ですが、私も努力して話してみます。お互いに支えあい学びあいましょう。

訳 中野先生

PTA研修旅行

伊藤 富子

梅雨の合間の素晴らしい快晴の中、「日本大正村と山岡町ヘルシー寒天料理」への研修旅行は、和気藹々とした雰囲気の中、とても楽しく、心に残る体験をさせていただきました。大正ロマンの趣き、寒天料理の涼しげで品の良い口あたり、ラベンダーの可憐なたたずまいなど……



ラベンダー狩り (ゆめ大国にて)

研修視察に参加して

上田千香代

人々が生活している中に、懐かしい建物があり、ふとどこかで見たことのある思いがよぎる不思議な町並の大正村。見た目にきれいだけれど、とてもヘルシーな寒天料理。やさしい香りのラベンダー狩りをして……と慌しくも楽しいラベンダーの香りのよい一日でした。

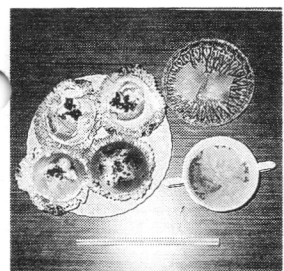
僕達の中学校生活……

一年学年主任 安江 憲生

子どもたちが入学して、もう一学期が終ろうとしています。三つの小学校から集まってきて新しい中学生生活を始めた子どもたち。緊張の連続だったようです。眠れない、朝早く目がさめてしまう、食事の量が減ったなど、新しい環境、人間関係に必死に順応しようとしている姿が見られました。しかし五月に入り学校作り、学級目標作りが進み、班別研修で行った社会見学を成功させるようになると、やはり柔軟な子どもたち、もうず願っています。

パン作り

母親委員会にて、六月二十四日、七月一日と二回に渡り、パン作り講習会が開かれ、とてもおいしいパンが出来上がり、参加者に大好評でした。役員の皆様、御苦労様でした。



廃品回収について

山田 芳久

学校での廃品回収を初めて体験し、とっても大変でえらかったです。しかし、担当だった生徒や先生方をはじめ、親さん方まで、協力し合って、しっかりとでき、よかったと思います。収益金二三、五三〇円でした。ありがとうございます。

編集後記

学校と家庭をつなぐ広報紙をめざして、第九十三号をお届けします。皆様からの、ご意見、ご要望をお待ちしております。